

常総市消防団 東松島市を視察



瓦礫置き場の視察の様子

8月28日から29日にかけて常総市消防団水海道支団員（約30人）は、東日本大震災により大きな被害を受けた宮城県東松島市を視察しました。

当時の状況や現在までの復興への取り組みについて、特に被害の大きかった地域の団員から被害状況や復旧状況などの説明を受け、団員から集められた見舞金を直接、阿部東松島市消防団長へ手渡ししました。

草間支団長は「テレビや新聞では報道されない現実を目の当たりにして、言葉を失いました。今後もわれわれにできることがあれば少しでも協力していきたいと思えます。1日も早い復興を祈ります。」と話していました。



阿部東松島市消防団長に見舞金を渡す草間支団長

農業振興に努める地域の若手リーダー



青年農業士となった根本信治さん

根本信治さん（杉山）が新たに青年農業士として県知事の認定を受けました。

根本さんは、露地野菜の多品目組み合わせにより、労力と収益の周年平準化を目指した経営を行っています。また、減農薬・減化学肥料に取り組み、エコファーマーとして環境にやさしい農業の実践や若手農業者組織でも積極的に活動しており、地域のリーダーとして今後の活躍が期待されます。

当市では、今回の根本さんを含め6人が将来の地域農業の担い手として期待される青年農業士の認定を受けて活躍しています。

晩夏の夜空に大輪の花



復興を願って晩夏の空に舞う花火

全国的に高い評価を得ている常総きぬ川花火大会2011が、9月10日、鬼怒川河畔橋本運動公園を会場に、開催されました。今年は、3月11日の東日本大震災の影響で開催が危ぶまれていましたが、「東日本大震災復興祈願 がんばろう日本！示そう常総市の底力を!!」をテーマに常総市から元気を発信しようと実施されました。

今年も全国から約11万人の見物客が訪れ、復興祈願花火や日本を代表する花火芸術家による花火ミュージアム、スペクタクル花火ショー「ハナビリユージョン2011」など、晩夏の夜空を華やかに彩る7000発の花火に酔いしれました。

長寿・健康を祝う



市内最高齢の小林鈴さん（左から2人目）

敬老の日を前に、9月10日、市内で100歳以上になる方を長谷川市長が訪れて「いつまでもお元気で」と褒状と記念品を手渡して長寿をお祝いしました。

今年度の100歳以上の方は37人で、市内最高齢は、111歳で県内2番目の長寿者となった大生郷町の小林鈴さん。いつまでもお元気で日本一の長寿者になってください。また、9月16日には、88歳を迎える283人の方に褒状と記念品を贈る米寿訪問が行われました。

百寿・米寿の皆さんおめでとうございます。

江戸時代から続く奉納綱火



7 mの大蛇となって釣鐘に巻きつく様子

9月13日、一言主神社秋季例大祭が行われ、大塚戸芸能保存会による県指定文化財の「大塚戸の綱火」が奉納されました。この綱火は、空中に張りめぐらせた綱によって、花火のついた人形を操作して芝居が演じられます。

最初に五穀豊穡を祈る三番叟の舞、続いて大万灯や幸福をもたらす美しい想像の鳥、鳳凰が夜空を舞う姿が披露されました。終演は、修行僧を慕う娘が想いかなわず大蛇に変わってしまう「安珍と清姫」の物語。小さな娘の人形が、花火とともに大蛇に変わって釣鐘に巻きつく場面や空中を乱舞する姿に観客から大きな拍手が送られました。

秋の交通安全運動を実施



交通事故防止を呼びかける石下紫峰高校生

9月21日から30日まで「日ぐれ時キラリと光る 反射材」をスローガンに、秋の全国交通安全運動が実施されました。当市では、20日に北海道郵便局前交差点で、22日には石下紫峰高校正門のほか2か所の交差点で、石下紫峰高校生や保護者、警察署、交通安全母の会などが参加し、街頭キャンペーンが行われました。登校する生徒への自転車マナーの啓発および交差点を通行する方々に手作りのチラシと新米を手渡し、「飲酒運転の根絶」「後部座席を含むシートベルトとチャイルドシート」の正しい着用の徹底」を呼びかけました。

数十年に一度咲く神秘の花 竜舌蘭が開花



見事に開花した竜舌蘭と田村さん
水海道天満町の田村美寿雄さん宅で、約60年前に植えられた竜舌蘭が8月に初めて開花しました。竜舌蘭は、英名センチュリー・プラントと呼ばれ一世紀に一度だけ花が咲いて枯れてしまうと言われていますが、熱帯地域では10〜20年、日本では30〜50年で開花するそうです。田村さん宅の竜舌蘭は、高さが約6mあり、天を突くように黄色い花が幾つか咲いていました。田村さんは「元気なうちに花を見ることが出来てよかったです」と話していました。

児童の引き渡し訓練を実施



引き渡し訓練の様子

9月8日、豊岡小学校で緊急災害時を想定し、児童を保護者へ引き渡す訓練が実施されました。3月11日に発生した東日本大震災とほぼ同時刻の午後2時30分に訓練を開始。校庭に集まった保護者の氏名を担任が児童に確認後、引き渡しました。保護者が参加できなかった児童は、先生の引率で地区別に集団下校し、学童クラブの児童は、学童クラブの指導員に引き渡しました。また、保護者に「緊急災害 児童引き渡しのお知らせ」のメールを発信し確認しました。

親子ふれあい料理教室を開催



親子料理教室の様子

県高圧ガス保安協会常総支部主催の親子ふれあい料理教室が8月19日、石下小学校で行われました。この催しは、学校などにLPガスコンロを寄贈することで安全性や利便性が充実したLPガスコンロを普及させ、事故の未然防止を図ることを目的としています。当日は親子10組20人が参加し、ピシソワーズやクレープなど計4品に挑戦。子供たちは慣れない手つきながらも、お母さんと一緒に楽しく調理をしていました。